

絶景 DATA

● 見ごろ

3月・9月の彼岸の時期

● ベストタイム

AM6:00 ~ AM7:00

洞窟に差し込む光が水面に反射して、ハートの形に見えます。

● 注意事項

- ・崩落の危険のある一部区域は、立入禁止です。
- ・マムシや山ビルなどの出没情報があるため、十分ご注意ください。

東京駅から
車で
約 90分

清水溪流広場
(濃溝の滝・亀岩の洞窟)

絶景

しみずけいりゅうひろば のうみぞ たき かめいわ どうくつ
清水溪流広場(濃溝の滝・亀岩の洞窟)

四季折々の景色に癒やされる自然公園。見どころの濃溝の滝・亀岩の洞窟までは、駐車場から徒歩10分ほど。園内には遊歩道が整備されているため、木々が奏でる旋律や木漏れ日を感じながらゆったりと散策できます。

また、夏はホタル、秋は紅葉も楽しむことができます。色とりどりに移り変わる季節とともに、光と水と緑にあふれる雄大な自然を感じてください。

九十九谷展望公園の雲海

東京駅から
車で
約 90 分

絶景

絶景 DATA

● 雲海が発生しやすい条件

秋から冬にかけて冷え込んだ風のない早朝
前日に雨が降った日など、湿度が高い日

● ベストタイム

日の出の時間帯

くじゅうくたにてんぼうこうえん 九十九谷展望公園の雲海

県内で2番目に高い山、鹿野山の山頂にある九十九谷展望公園からは、房総丘陵が幾重にも連なる山並みの風景を眼下に一望することができます。これら山谷の織り成す景観は、総称して九十九谷と呼ばれています。

また、昭和を代表する日本画家の一人、東山魁夷の出世作と言われる「残照」のモデルになっており、県内の優れた眺望を選定した「ちば眺望100景」にも登録されています。

気象条件が整った夜明け間際には、山々の陰から朝霧が浮かび上がる雲海を望むことができ、幻想的な白と黒の対比は、水墨画の世界のようだと例えられています。

久留里城

撮影場所：久留里宇内山

君津の歴史を感じる

南総里見八犬伝のモデルになった戦国武将・里見氏も本拠とした房総の名城。現在は、君津の観光名所として天守閣、久留里城址資料館が建てられ、郷土の歴史を学ぶことができる。

📍 久留里城址資料館 ☎ 0439(27)3478

撮影日：9月21日14時頃

カメラの設定：

1/4000秒、ISO640、f/4



小糸川沿岸歩行者専用道

撮影場所：外眞輪地先

季節を感じながら歩く

桜や菜の花など季節の草花を眺めながら散歩やランニング、サイクリングを楽しむことができる小糸川沿岸の遊歩道。市街地からもほど近く、自然を身近に感じられる地域住民の憩いの場所。

📍 経済振興課 ☎ 0439(56)1325

撮影日：4月6日13時頃

カメラの設定：

1/4000秒、ISO1000、f/6.3



亀山湖

撮影場所：亀山湖上(笹川渓谷コース)

真紅に染まる房総の奥座敷

房総半島のほぼ中央部に位置する亀山湖は、県下最大の多目的ダム湖。大自然に囲まれたダム周辺では、本州一遅くまで紅葉を楽しむことができる。船に乗って湖の上から景色を眺める紅葉狩りクルーズが人気。

📍 経済振興課 ☎ 0439(56)1325

撮影日：12月1日8時頃

カメラの設定：

1/250秒、ISO500、f/11



とよふき 豊英大滝

撮影場所：湯の沢橋下

君津の大自然を満喫

豊英湖に注ぐ木和田川流域に位置する大滝。白糸を垂らしたような上段、なだらかな滑り台のような下段からなり、水が溜まった滝つぼでは、子どもたちの遊ぶ様子も見られる。

📍 経済振興課 ☎ 0439(56)1325

撮影日：8月11日11時頃

カメラの設定：

1/200秒、ISO400、f/11



J R久留里線

撮影場所：J R小櫃駅

いざ懐かしき故郷へ

1912年に県営鉄道として開業。沿線には久留里城や亀山湖などの観光地が点在している。2012年に開業100年を迎え、地域の足を支え、ローカル鉄道ファンの間でも人気の路線。

📍 企画課 ☎ 0439(56)1566

撮影日：3月18日14時頃

カメラの設定：

1/800秒、ISO500、f/9



かえふち しい 賀恵洲の椎

撮影場所：賀恵洲 168

遥か昔から佇む巨木

小櫃地区の八坂神社境内にある賀恵洲の椎は、推定樹齢600年の巨木。君津市指定天然記念物でもあるこの木は、平成元年に「新日本名木百選」にも選ばれ、今も人々の暮らしを見守り続けている。

📍 生涯学習文化課 ☎ 0439(56)1418

撮影日：9月10日14時頃

カメラの設定：

1/160秒、ISO1000、f/5



君津市

50年のあゆみ

昭和40年代中頃、八幡製鐵株式会社（現在の日本製鐵株式会社）の操業本格化に合わせて人口の急増、工業都市化が進んだ君津のまち。昭和45年（1970年）に旧君津町・小糸町・清和村・小櫃村・上総町が合併し、翌年の昭和46年（1971年）9月1日に県下25番目の市として君津市が誕生しました。

令和3年（2021年）9月1日、誕生から半世紀という節目を迎える君津市の50年のあゆみを振り返ります。



昭和48年
(1973年)
10月
君津橋上駅が完成
現在のJR君津駅の形となる



昭和51年
(1976年)
7月
君津市役所新庁舎が完成
手前に見えるのは解体途中の旧庁舎



昭和54年
(1979年)
3月
房総スカイライン開通
君津と鴨川を結ぶ
房総スカイラインが開通



平成3年
(1991年)
9月
ふれあいフェスティバル
市制施行20周年を記念し、
NHKのど自慢が市内で開催



昭和60年
(1985年)
3月
特急電車が君津駅に停車
特急電車が君津駅に初めて停車



平成3年
(1991年)
11月
国民文化祭ちば'91
当時の皇太子殿下が
花のコーラスをご鑑賞

昭和

- 46年 9月 市制施行(市長 鈴木俊一氏)
県下25番目の市となる
- 12月 住民登録人口7万人突破
- 47年 12月 郡ダム完成
- 48年 7月 君津新橋(歪師・八幡)
開通
- 9月 小櫃中学校とブラジル松柏
学園が姉妹校となる
- 10月 君津橋上駅完成
- 49年 7月 君津中央通り開通
- 8月 内みのわ運動公園
「市民プール」開園
- 10月 市長選挙で鈴木俊一氏再選
- 50年 4月 南子安小学校開校

- 51年 7月 自然休養村管理センター完成
- 新市庁舎完成
- 9月 君津市民の歌制定
- 10月 君津市民憲章制定
- 53年 3月 久留里城天守閣が復元
- 4月 内みのわ運動公園
「日本庭園」開園
- 7月 移動図書館「ひまわり号」
運行開始
- 10月 市長選挙で鈴木俊一氏が3選
- 54年 3月 房総スカイライン
有料道路開通
- 8月 久留里城址資料館が開館
- 55年 7月 亀山ダム利用開始

- 55年 10月 緩衝緑地(共同福祉施設)
一般開放
- 56年 3月 市の花がミツバツツジに決定
- 57年 2月 住民登録人口が8万人突破
- 10月 市長選挙で白石光雄氏が当選
- 58年 4月 北子安小学校開校
- 7月 市民体育館開館
- 60年 3月 特急電車が君津駅に停車
- 4月 周西南中学校開校
- 61年 7月 久留里市民プール開園
- 10月 市長選挙で白石光雄氏が再選
- 62年 4月 八重原中学校開校
- 63年 5月 漁業資料館開館

平成

- 元年 11月 下水道終末処理場完成
- 2年 9月 住民登録人口が9万人突破
- 君津市民文化ホール完成
- 10月 市長選挙で白石光雄氏が3選
- 3年 9月 ふれあいフェスティバル
(NHKのど自慢)開催
- 11月 国民文化祭ちば'91 皇太子殿下
花のコーラスをご鑑賞
- 5年 2月 君津メディカル
スポーツセンター開館
- 7月 君津駅に全ての特急電車が停車
- 6年 4月 外箕輪小学校が開校
- 5月 大道沢公園が開園
- 7月 市営聖地公園竣工



平成 9 年 (1997 年) 12 月 東京湾アクアライン開通
東京湾を横断する道路が開通し、都心へのアクセスが向上



平成 15 年 (2003 年) 4 月 君津バスターミナル駐車場完成
高速バスの利便性が向上



平成 19 年 (2007 年) 7 月 館山自動車道全面開通
君津 IC ~ 富津中央 IC の開通により、館山自動車道が全面開通



平成 21 年 (2009 年) 4 月 久留里観光交流センター開館
久留里地区を中心とした地域の観光拠点が開館



平成 11 年 (1999 年) 4 月 保健福祉センターふれあい館開館
市民の健康づくりを推進



平成 18 年 (2006 年) 9 月 市道君津駅前線開通
周辺道路の混雑が解消し、駅を利用する人たちの利便性が向上



平成 21 年 (2009 年) 4 月 生涯学習交流センター開館
市民の相互交流や自発的な学習活動を促進する生涯学習の拠点が誕生



平成 24 年 (2012 年) 12 月 JR久留里線開業 100 周年
100 周年を記念して、旧型車両ラストラン前の新旧車両のツーショット

平成

- 6 年 10 月 市長選挙で若月弘氏が当選
- 7 年 2 月 日本一のミツバツツジの里づくり構想スタート
- 8 月 中学生による初のまちづくり模擬議会開催
- 8 年 7 月 きみつふるさと物産館開館
- 8 月 第 1 回君津市民ふれあい祭りを開催
- 9 年 4 月 八重原公民館開館
- 12 月 東京湾アクアライン開通
- 10 年 4 月 老人憩いの家「トロン末吉」開館
- 10 月 市長選挙で三浦公明氏が当選
- 11 年 4 月 保健福祉センター「ふれあい館」開館

- 11 年 8 月 県内 7 番目の道の駅「ふれあいパーク・きみつ」誕生
- 12 年 7 月 高速バス「君津・東京線」運行開始
- 14 年 8 月 高速バス「君津・羽田空港線」運行開始
- 10 月 中央図書館開館
- 市長選挙で三浦公明氏が再選
- 15 年 4 月 君津バスターミナル駐車場開設
- 館山自動車道君津インターチェンジ開通
- 5 月 生きがい支援センター開館
- コミュニティバス「小糸川循環線」、「栗倉・豊英線」運行開始
- 17 年 10 月

- 18 年 5 月 周西公民館開館
- 9 月 市道君津駅前線開通
- 10 月 市長選挙で鈴木洋邦氏が当選
- 19 年 7 月 館山自動車道全面開通
- 10 月 コミュニティバス「人見・大和田・神門線」、「亀山線」運行開始
- 君津中央公園開園
- 20 年 6 月 生きた水・久留里が平成の名水百選に選定
- 21 年 3 月 スマートインターチェンジ開通
- 4 月 生涯学習交流センター開館
- 久留里観光交流センター開館
- 君津市マスコットキャラクターきみぴょん決定
- 11 月 子育て支援センター開館

- 22 年 5 月 君津グラウンド・ゴルフ場がオープン
- 9 月 第 31 回九都県市合同防災訓練が君津市を主会場として開催
- 第 65 回国民体育大会（ゆめ半島千葉国体）を開催
- 10 月 上総地域交流センターが開館
- 市長選挙で鈴木洋邦氏が再選
- 23 年 3 月 東日本大震災の避難者支援、緊急消防隊の出動と職員の派遣開始
- 9 月 市制施行 40 周年
- 24 年 4 月 人見保育園が開園
- 12 月 JR久留里線開業 100 周年・新型車両導入



平成 27 年 (2015 年) 10 月
きみつの地酒まつり開催
 きみつの地酒で乾杯を推進する条例施行を記念して開催



平成 31 年 (2019 年) 3 月
学校給食共同調理場完成
 より安全で安心な給食を提供する学校給食共同調理場が完成



令和元年 (2019 年) 9 月
令和元年房総半島台風で被災
 台風による甚大な被害が発生



令和 2 年 (2020 年) 8 月
白岡市と友好都市協定
 新型コロナウイルス感染症を考慮して、オンラインでの協定締結を実施



平成 28 年 (2016 年) 10 月
廣瀬隆喜選手に市民栄誉賞授与
 リオパラリンピック・ボッチャ競技で銀メダルを獲得した廣瀬選手に市民栄誉賞を授与



令和元年 (2019 年) 5 月
令和婚をカラーでお祝い
 令和改元初日に婚姻届を提出した方たちをカラーの花束で祝福



令和元年 (2019 年) 10 月
すこやか親子サポート「つみき」開設
 妊娠・出産・子育てを専門職が関係機関と連携して応援



令和 2 年 (2020 年) 11 月
君津水上スキー大会開催
 郡ダムで東京都水上スキー連盟主催による本市初の水上スキー大会を開催

平成

- 25 年 2 月 獣肉処理加工施設開所
- 4 月 県内では 3 番目となるチャレンジドオフィスを開設
長野県飯田市と災害時相互応援協定締結
- 10 月 デマンドタクシー本運行開始
- 26 年 4 月 女性消防分団発足
- 10 月 市長選挙で鈴木洋邦氏が 3 選
- 27 年 9 月 ふるさときみつ応援寄附金事業開始
- 10 月 きみつの地酒まつり開催
- 28 年 4 月 かずさあけぼの保育園開園
- 9 月 リオパラリンピックで廣瀬隆喜選手が銀メダル獲得

- 28 年 10 月 リオパラリンピックで銀メダルを獲得した廣瀬隆喜選手に市民栄誉賞授与
- 29 年 2 月 君津市議会が埼玉県白岡市議会と友好交流協定締結
- 4 月 高速バス「君津・新宿線」運行開始
- 6 月 きみつ健康マイレージ開始
- 30 年 4 月 周南小学校と周南中学校で小中一貫教育開始
- 4 月 周西小学校と周西南中学校でコミュニティ・スクール開始
- 10 月 市長選挙で石井宏子氏が当選
本市初の女性市長誕生
- 31 年 3 月 学校給食共同調理場完成

- 31 年 4 月 水道事業をかずさ水道広域連合企業団に移行
- 周東中学校開校
- 君津市マスコットキャラクターきみびよん生誕 10 周年

令和

- 元年 5 月 令和改元、令和婚をカラーのブーケでお祝い
- ドローンによる橋梁点検の実証実験開始
- 6 月 君津市で東京五輪の聖火リレーが行われることが決定
- 8 月 広報きみつ全面リニューアル

- 元年 9 月 令和元年房総半島台風で被災
- 10 月 すこやか親子サポート「つみき」開設、母子手帳アプリを導入
- 12 月 君津市がニュージーランドのホストタウンに登録
- 2 年 4 月 清和小学校
上総小櫃中学校開校
- 人見こども園と民間保育園 4 施設開園
- 5 月 新型コロナウイルス感染症に対する市独自の支援策実施
- 8 月 埼玉県白岡市と友好都市協定締結
- 11 月 君津水上スキー大会開催
- 3 年 9 月 市制施行 50 周年

3月下旬

三舟山&郡ダム お花見ウォーク

君津駅から三舟山・郡ダムまでのハイキングコースを歩き、春の訪れを感じながら君津の自然を満喫するイベント。コース内に設けられたチェックポイントや郡ダム近くの広場では、さまざまな出店や催し物が行われます。市街地からもほど近く、山道が整備され、初心者でも登りやすい三舟山は、気軽なハイキングにぴったりです。

☎ 経済振興課 ☎ 0439(56)1325



①ドローンで空撮した春の三舟山 ②三舟山の麓に広がる菜の花畑の中を歩くイベント参加者 ③三舟山の山頂から見下ろす君津市街地 ④家族でイベントと一緒に参加



桜の開花中

亀山湖の桜と ライトアップ

亀山湖周辺にある湖畔公園内の桜が期間限定でライトアップされます。日中はハイキングやレンタサイクルでのサイクリング、貸ボートでの遊覧、キャンプや温泉を楽しみ、夜には幻想的な夜桜を楽しめます。

☎ 経済振興課 ☎ 0439(56)1325

①亀山湖畔公園(草川原地区) ②③亀山湖畔公園(月毛地区) ④笹川湖畔公園(ツウタ)



7月中旬

久留里夏祭り

城下町として栄えた久留里のまちなかで、県内でも有数の大きさの4基の山車の引き回しが行われます。山車や神輿が久留里駅前広場に集結すると、お囃子や太鼓、ダンスなどの演芸イベントが行われます。

☎ 経済振興課 ☎ 0439(56)1325

①②力を合わせて山車を引き回す様子は大迫力! ③久留里駅前広場に集結する山車



8月上旬

君津市民 ふれあい祭り

君津の真夏の一大イベント。ダイナミックな演奏を楽しめる自衛隊音楽隊によるサマーコンサート、精緻な鉄鋼製品の製造工程を見ることが出来る日本製鉄(株)東日本製鉄所君津地区の工場見学、亀山湖畔を鮮やかに彩る君津市民花火大会、約2,500人が参加するいやさか君津踊りなどさまざまなイベントを開催します。



①君津市民花火大会
②③いやさか君津踊り
④神輿の練り歩き

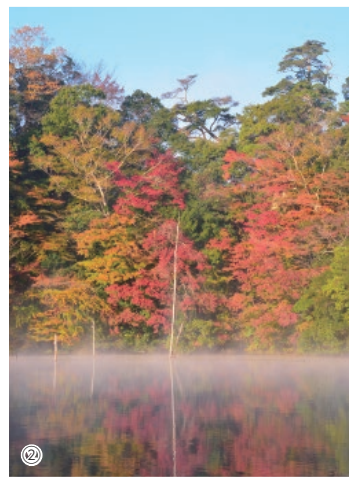


秋のきみつ

11月中旬から12月上旬
亀山オータム
フェスティバル

本州一遅くまで紅葉を楽しめる亀山湖周辺を舞台に開催される君津の秋のイベント。紅葉のシーズンに合わせて運行している紅葉狩りクルーズは、間近で紅葉を楽しめる猪ノ川渓谷コースと、迫力ある絶景を楽しめる笹川渓谷コースがあります。紅色に染まった亀山湖をボートの上から堪能できると市内外から毎年多くの観光客でにぎわいます。その他にもイベント期間中は、亀山ダムの特別放流や普段立ち入ることのできないダム内部を見学できる亀山ダムウォッチング、地元特産品の販売など、さまざまな催しが行われます。

①紅葉の名所をボートで案内する紅葉狩りクルーズ②③紅葉が創り出す亀山湖畔の絶景



3月上旬

久留里新酒まつり
軒先にぎわい市

久留里で湧き出る井戸水は、生きた水・久留里と呼ばれ、千葉県内で唯一、「平成の名水百選」に選ばれている名水です。その名水で仕込んだ出来たての新酒を楽しむイベント、新酒まつり。限定デザインのお猪口を持って酒蔵をぶらり巡りながら、各蔵で搾られたばかりの新酒を飲み比べできます。

①鏡開きでイベント開始 ②出来たての君津の地酒で乾杯 ③ようこそ！城下町として栄えた戦国ロマンを残す久留里へ ④まちなかには自由に利用できる自噴井戸が点在



冬のきみつ

2月上旬

どんど焼き

正月の松飾りなどを持ち寄って焚き上げる、どんど焼き。豪快に燃え上がる炎と、周囲に響き渡る竹の破裂音は圧巻で、鬼や厄を払うとも言われています。

10月中旬

きみつ枝豆収穫祭

現地で購入した荒縄に結わえるだけの枝豆を持ち帰ることができる参加型収穫祭。枝豆は、小糸川流域で守り育てられてきた在来種「小糸在来®」です。甘味が強く、ほのかな香りが特徴な君津の秋の味覚です。

①②③④イベント参加者の笑顔であふれる市宿地先の会場



特集
きみつ暮らし

君津で暮らして、都内で働く



通山家の皆さん

東京に通えるきみつ暮らし

「君津の環境が我が家の暮らし方に合っていて、とても過ごしやすいんです」と話す通山さんは、君津市生まれ君津市育ち。現在は、実家を建て替えた二世帯住宅に、ご主人と2人のお子さん、そして、両親の6人家族、親子3世代で暮らしています。就職後、一度は

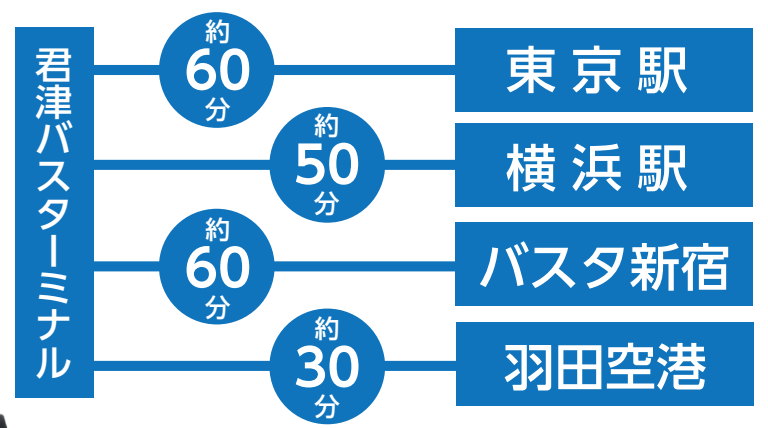
横浜から都内の職場へ通勤する生活を送っていたものの、のびのびと過ごせる環境を求めて、地元・君津に戻ってきた通山さん。現在は、ご夫婦共働きで『君津で暮らしながら都内で働く暮らし』を実現しています。
「都心との通勤環境の違いは、電車で通勤する際の快適さです。都内の場合、電車の本数は多いけ

ど、通勤時間帯になると満員電車ばかりになります。その点、始発列車が多い君津駅から乗車すれば、座席も空いているし、特急を使えば1時間程度で東京駅まで行くことができるので、とても魅力的です」と話してくれました。
働きながら、家事や子育てもこなす通山さん。「電車に乗っている時間は、貴重な自分だけの時間

良好な交通アクセス 都心に近いまち

東京湾アクアライン、館山自動車道、JRの在来線などの交通網が充実しているため、気軽に首都圏内までアクセスすることができます。また、君津と大都市を結ぶ高速バスが多数運行しているため、遊びに出掛けるだけでなく、通勤手段としても活用可能です。
鉄道では、JR君津駅が在来線の特急・快速の始発駅となっているため、目的地まで座ったまま移動できる機会が多いのも魅力の一つです。

【君津市から首都圏への所要時間】



高速バス時刻表

※交通状況によって所要時間は異なります



①歩いて買い物に出掛ける通山さん ②自然豊かな広い公園でのびのびと遊ぶ子どもたち



にもなっています。読書をしたり、音楽を聞いたり、と気分転換ができるのでプライベートと仕事を切り替える時間としても役立っています」と、慌ただしい平日の朝にも自分の時間を確保できる通勤環境の良さを話してくれました。「同じ職場には、君津バスターミナルから東京湾アクアラインの高速バスを使って通勤している方も

います。都心への交通アクセスが良く、選択肢が多いというのも君津の強みだと思います」と普段から公共交通機関を利用しているからこそわかる通勤事情を話してくれました。

君津でのびのび子育て

「君津市の子育て環境は住宅街の中にも自然を感じられる公園が

多くて、のびのびと子どもたちを遊ばせることができます。ずっと住んでいると当たり前のことのように思えるけれど、親の目の届く範囲で自由に遊ばせる環境があるということは、子どもたちにとって、とても貴重です。都心は、どうしても人やモノが多いんですよ」と都心での子育て経験を振り返りながら話してくれました。



特集
きみつ暮らし



豊かな自然の中で子育てを
子どものための移住生活

ずし
図師さんご夫婦



移住前は江戸川区でレストランとケーキ屋を経営していましたが、君津の自然に魅力を感じ、君津市への移住を決めた図師さんご夫婦。夫婦2人と子ども4人の6人家族での移住生活についてお話を伺いました。

当たり前が新鮮に感じた

移住のきっかけはキャンプでした。清和県民の森へ何度かキャンプに訪れるうちに豊かな自然に囲まれた君津市の環境に魅力を感じました。特にこの清和地区には、都会にはない「湿度」を感じました。朝もやや森林から湧き上がる水蒸気など、昔から住んでいる人には当たり前の現象や風景も私たちには新鮮なものに感じられました。そうして何度も君津市を訪れるうちに、「きみつに住めた

らしいな」と思い始め、移住の準備を始めました。移住先の候補にはハケ岳や福島などもありましたが、東京まで車で約1時間程度で移動でき、他の候補地に負けない豊かな自然を誇る君津市を移住先に決めました。

飽きることのない新天地

君津では期待した通りの自然の豊かさを毎日感じています。きれいな朝日に夕焼け、何気ない風景も都会では体験することができません。都会では時間に追われるよ

図師さんのおすすめスポット！

君津の大自然を満喫できる！

清和県民の森
(君津市豊英 660)

3,200haにもおよぶ全国でも有数の敷地の中、豊かな自然環境を思い切り満喫することができます。大人も子どもも楽しめる自然アトラクションが満載です！



①清和県民の森の管理所「木のふるさと館」②高床キノコ型のロッジ③木工体験教室



①君津市産の素材にこだわったいちごのケーキ ②店舗の外観の様子

うな生活を送っていましたが、移住してからはゆったりとした時間を過ごしています。興味があった木工や野菜づくりなども仕事の傍ら楽しんでいます。

未だに運転中やふとしたときに「いいところに引っ越してきたな」とつぶやいてしまい、子どもたちから「引っ越したばかりみたいなことを言うね」と言われるくらい、

2020年版
おすすめ移住・交流先 20 選に選ばれました！



一般社団法人移住・交流促進機構 (JOIN) が行っているおすすめ移住・交流先 20 選に君津市が選ばれました！詳しくは、市特設ホームページをご覧ください。



何年経っても飽きない、素晴らしいところだと思います。

子どものことを考えた移住

子育てをする時間は、二度と戻ってきません。子どもたちには、アスファルトではなく、土を感じてもらいながら、太陽の光をいっぱい浴びて育ててほしいです。

移住というと定年後の第2の人

生というイメージがありますが、私たちはむしろ子どもが小さいうちに移住をするべきだと思います。近頃は、子どもたちの方から「今日はとっても夕焼けがきれいだよ！」と教えてくれることもあります。君津は子育て環境も充実しているので、一步踏み出して、お子さんとの移住を考えてみてはいかがでしょうか？



長板中形の藍染工程

長い板に布生地を貼り付け、模様が彫られた型紙を乗せて、柄（白くなる部分）をつけるために糊を置いていきます。模様が続きになるように、ぴったりと型紙を合わせる技術は、まさに職人技です。

特集
きみつ暮らし

ほっと心が安らぐ場所

今は、交通網が整備され移動も楽になりましたが、移住して間もない頃は大変でした。今では、逆に東京にいる方が息が詰まる気がします。深呼吸ができる君津市亀山に帰ってくると、ほっと心が安らぎます。

ものづくりをしている人間なので、気持ちのコントロールは自分自身でやらなければいけません。東京はとても便利なところですが、それ故に色んな情報が入ってきてしまいます。ここでの暮らしで耳に入ってくるものといえば、鳥のさえずりや川の流れる音など。人工的な情報を自分でコントロールでき、精神的に安定できるというのは、とても幸せな環境だと感じています。

地域と関わり、豊かになる暮らし

地域との関わり方は、人によって違った考え方があると思います。田舎での暮らしは、人付き合いを拒否しようと思えばできてしまう。ただ私の場合は、それでは楽しくないと思いました。移住した当時を振り返ると、消防団に入団したことが地域とつながるきっかけだったと思います。仕事との両立で大変だったことも多いですが、いざやってみると色んな経験ができてとても楽しかったです。自然体で地域に溶け込むことができました。この地で仕事をする、地域とのつながり、両方が絡み合っただけでこの暮らしがますます楽しくなるのが実感できます。

まつばら のぶお
松原 伸生さん



江戸時代から伝わる染色法「長板中形」の技術を伝承する藍形染作家で千葉県指定無形文化財保持者。

2018年には、日本の貴重な伝統文化に貢献した人に贈られる伝統文化ポーラ賞の優秀賞を受賞するなど、藍形染の第一人者として国内外で高く評価されている。

特集
きみつ暮らし

人と人の思いをつなぐ「農業」— 千葉の米作りを支える若い力



大好きな田園風景と暮らし

君津では、恵まれた気候と、地域によって違う性質を持つ土壌のおかげでさまざまな農作物を生産することができます。私が暮らす浜子地区は、稲作に適した粘土質の土壌で、とても美味しいお米ができるんです。

自宅の前から一望できるのどかな田園風景は、昔から変わらない、私の大好きな風景です。

人と人のつながりから見える幸せな暮らし

今、目の前に広がる美しい田園風景は、代々、その土地を耕してきた方がいるからこそ見ることができる風景です。

田んぼは、耕作を止めてしまえば、たちまち雑草が繁茂してしまいます。田んぼを貸してくれている地主さんは、それまで自分たちで耕作をし、田んぼを管理してき

た方々で、田んぼを大切に思っている方々です。その思いを継いで管理させてもらおうと、すごく感謝してもらえます。そういった関係性がうれしいし、その土地を大切に管理してきた方々の思いを継いでいくことは、農業をする上でとても大切なことだと考えています。

千葉の米作りを支える若い力

君津には働き口がないからと都会へ出て行く方がいると耳にします。田舎でも仕事のタネというのは、いくらでも転がっていて、私の場合は、それが農業だったんです。

体を動かして、汗をかき、丹精込めて作ったお米を収穫するときには、何にも代え難い喜びを感じます。

昔から変わらないこの田園風景とこの土地でとれる美味しいお米を未来に届けるために、自分ができることを精一杯やって、君津をもっと元気にしたいです。



のうじょう あきお
能星 昭男さん



25町歩（東京ドーム約5個分）の田んぼで米を作る。生産する米の半数は種もみ（種にする米）で、県内のみで生産されている品種「ふさこがね」の種もみのうち、1割以上を生産している。君津市だけでなく千葉県の農業を担う若手経営者。

過去から未来へ受け継がれる きみつの伝統芸能

☎ 生涯学習文化課 (56)1418



やぶさめ

菅原道真を祭神とする北子安の菅原神社で、江戸時代から行われている五穀豊穡を祈る行事。神事の後に「わか」と呼ばれる10歳未満の男の子や宮司などが弓で矢を射り、的の白黒部分に当たった矢の数によって、その年の天候・豊凶を占う。

かのうざん 鹿野山のはしご獅子舞

鹿野山白鳥神社の例大祭で奉納されるはしご獅子舞。室町期、鹿野山を訪れた高野山の名僧を慕って紀州から移り住んだ木こりたちが、故郷の奥高野を偲び舞ったのが始まりと伝えられている。獅子舞は2人1組で断崖に見立てた高さ約10メートルのはしごに登り、奥高野に住む牡獅子を慕う、牝獅子の荒れ狂う様が演じられる。

江戸時代から、浜の大漁と岡の豊作を願って受け継がれてきた人見神社の神事。清めの儀式を済ませた神馬が石段を駆け上り、裏坂を通過して神社の拝殿に躍り込みを行う。拝殿の中を東回りに回り、滞りなくできた年は豊作になると云われている。



おめし
人見神社「神馬」



かっこまい
三島の棒術と羯鼓舞

源頼朝が安房の地から北上し、三島の地を通過した際、一部の家来がこの地に土着し、三島神社で奉納試合を行ったことが始まりと云われている。



農民の雨乞いにより竜神が雨を降らせたという故事にならい、3体の獅子が、哀調をおびた笛の音に合わせ、腹部に付けた小太鼓(羯鼓)を打ちながら踊る。



まのぼり
馬登の獅子神楽

神楽の獅子は、前かぶりと後かぶりの2で行う。神楽舞の前後には、新ばやし・宮昇殿・神田丸・ばかばやしの祭ばやしが奏でられ、獅子舞を一層引き立てる。秋祭りでは、地区内の3カ所の神社で順番に、獅子神楽を奉納する。



おおとみ
大戸見の神楽

2人立ちの獅子を中心に、笛2人、大太鼓1人、小太鼓2人、すり鉦1人で構成される。大戸見の神楽は、松丘地区の最も代表的なもので、楽が進むにつれて人が段々成長してゆく過程を表現しているものと云われている。



鹿野山のさんちょこ節

江戸時代から伝承されてきたさんちょこ節は、お盆休みに女の子が家の軒に置かれた縁台の上で、あやとり棒を使った遊びをしたことに始まるとされる。



はくさか
白山神社の獅子神楽

祭り当日、午前に神楽を奉納し、午後からは白山神社境内に集まって、獅子神楽が奉納される。各地区の神楽舞が終了のたびに、お餅やお菓子撒きが恒例として行われる。



むて
六手の神楽ばやし

神楽ばやしが奉納される八幡神社は、古くは鶴舞八幡宮と称して、鎌倉期に鶴岡八幡宮から分社したものと伝えられ、神楽ばやしも古くから伝承されたといわれる。

伝統芸能名	時期	場所
やぶさめ	1月7日	菅原神社
はしご獅子舞 さんちょこ節	4月28日	九十九谷展望公園
人見神社「神馬」	7月下旬	人見神社
大戸見の神楽	8月第一土曜日	稲荷神社
六手の 神楽ばやし	9月下旬	八幡神社
三島の棒術と 羯鼓舞	9月下旬	三島神社
白山神社の 獅子神楽	9月下旬	白山神社(俵田)
馬登の獅子神楽	9月29日	白山神社(馬登)

Google マップで会場一覧を
見ることができます

☎ 生涯学習文化課 (56)1418



君津が誇る

特産紹介

花言葉は、「華麗なる美」大切な人に贈る花
カラー

豊富な湧き水を使って栽培されている花「水生カラー」は、品質に優れ、君津市が生産量日本一を誇る特産品です。毎年10月頃から出荷がはじまり、3月から4月にかけて出荷の最盛期を迎えます。清楚な佇まいから結婚式のブーケなどで広く利用されています。



特産を生み出す、水。



「平成の名水百選」
生きた水・久留里

豊かな地下水に恵まれている君津市。城下町として栄え、名水の里と呼ばれる久留里地区の「生きた水・久留里」は、県下で唯一、「平成の名水百選」に選ばれています。まちなかに点在する自噴井戸は、無料で一般開放されており、連日、市内外から多くの方が水汲みに訪れます。



地酒

豊富で良質な水を活かした酒造りが盛んな君津市。東京国税局管内(1都3県内)で最多の6軒の酒蔵があります。平成26年に「きみつの地酒で乾杯を推進する条例」を施行し、市をあげて地酒による乾杯を推進しています。



上総掘り

君津市発祥の井戸掘り技術「上総掘り」。明治時代中期から上総の職人たちが全国各地へ出向き、その技術は、全国へと広まってきました。



いちご

いちご狩りのシーズンは、12月下旬から5月下旬。市内のいちご園で、さまざまな品種のいちごを食べ比べることができます。



幻の大豆 小糸在来[®]

小糸川流域で守り育てられてきた在来種。10月中旬に枝豆、11月下旬から12月上旬にかけて大豆として収穫します。甘味が強く、ほのかな香りが特徴です。



清和の自然薯^{じねんじょ}

コクのある風味と新鮮で甘さを感じる香り、そして生命力に満ちた強い粘りが特徴の清和の自然薯。10月下旬から12月中旬にかけて出荷の最盛期を迎えます。



たまご

君津市は、県内でも有数のたまごの名産地。鶏のたまご本来の味を楽しむ、たまごかけごはんをぜひ、お試しください。



カラダにうれしい小糸在来で作られたスイートポテト風のスイーツ大豆や、きな粉をまぶした大豆あんこ玉など、加工品が盛りだくさんです。





きみつフォトギャラリー

数多くの写真映えスポットを誇る君津市。その一部をご紹介します。

データで見る千葉県・君津市

まちのプロフィール

たくさんの魅力がギュッと詰まった君津市。
さまざまなデータと一緒に君津の強みを
ご紹介します。

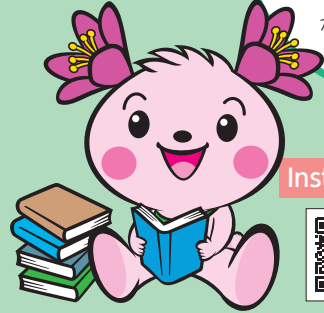


ふとこる具合



統計情報

君津市
マスコットキャラクター
きみびん

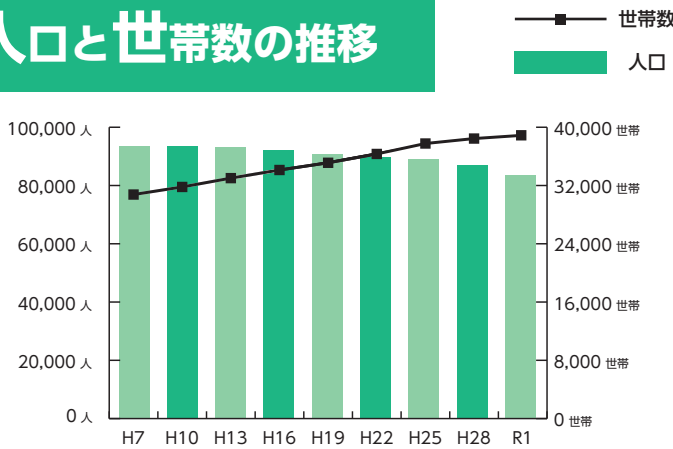


Instagram Twitter



君津市の花
「ミツバツツジ」を
モチーフにした君津市のマスコット
キャラクター。房総丘陵の豊かな
山の中に住み、湖のほとりや
川べりに遊びに来る、元気で
かわいらしい小さな
動物です。

人口と世帯数の推移



君津市には、83,005人・39,147世帯（令和2年12月末時点）が暮らしています。
人口は、現在の日本製鉄㈱が進出して以降、増加していましたが、少子高齢化の
背景から、平成7年をピークに年間約900人のペースで人口が減少しています。

面積

318.81 km²

都市部と、豊かな自然が残る山間部が共存する、県内2番目の面積を誇る暮らしやすいまちです。

県内2位



酒蔵の軒数

6軒

市内には、6軒の酒蔵があります。東京国税局管内で最も酒蔵が多いまちです。

東京国税局管内1位



市の誕生日

令和3年9月1日で市制施行

50周年

君津市は、昭和46年（1971年）9月1日に県下25番目の市として誕生しました。



カラー生産量

日本1位

年間約180万本

カラーは9月の下旬頃から出荷が始まり、2月から4月に最盛期を迎え、5月末頃まで出荷されます。君津市でカラーの栽培が始まったのは昭和28年頃。現在では日本有数の産地になっています。

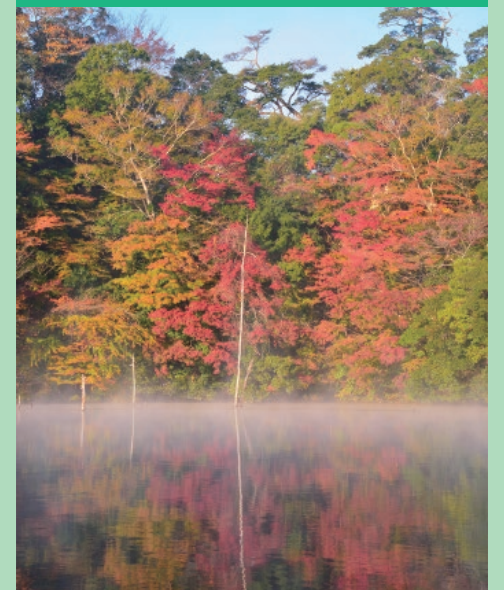


キャンプ場の数

君津市には14カ所以上のキャンプ場があります。都心からほど近く、気軽にアウトドアを楽しめるまちです。



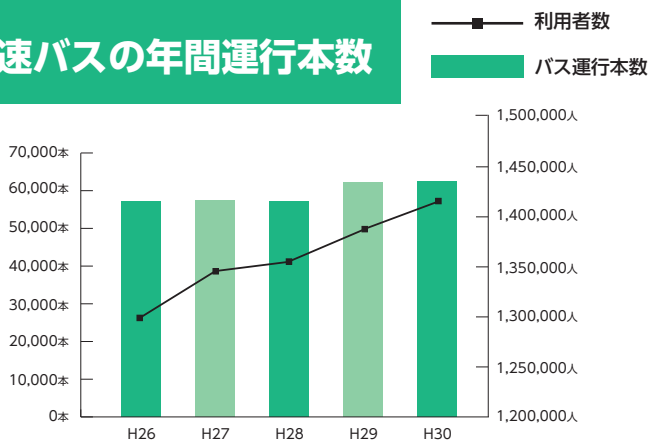
亀山の紅葉



本州で1番遅い

亀山湖周辺は、本州で一番遅くまで紅葉を楽しむことができます。

高速バスの年間運行本数

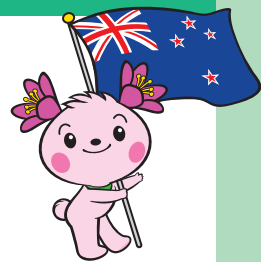


君津市から高速バスを利用すると約60分で東京や横浜などの大都市に行くことができます。通勤や通学に利用する方が多く、年間を通して数多くの高速バスが運行しています。

年間62,609本

ホストタウン

ニュージーランド



君津市はこれまで中学生の海外派遣事業や、女子ソフトボールチームのキャンプ受入などを行い、ニュージーランドと交流を行っていました。今後さらに交流を深めるために、令和元年12月27日にホストタウンに登録されました。

粗鋼生産量

日本1位

4,920万トン

君津市には、世界に誇る日本製鉄㈱の製鉄所があります。世界中に向けて高品質な鉄を作り続けています。



日本製鉄㈱ホームページより引用